

走つて 食べて 楽しんだ

初めて開催された「東北風土マラソン」。県内初となるフルマラソンが快晴の空の下、スタート。大会には国内だけでなく、アメリカやフランスからも選手が集まりました



迫町の長沼フットピア公園を会場に4月27日、「東北風土マラソン」が開催されました。当日は、県内初となるフルマラソンや、ハーフマラソン、キッズランなどに、国内外から1233人のランナーが集結。春の陽光がまぶしい長沼周辺のコースを走り抜けました。

大会は、東日本大震災からの復興を祈念。「食」と「風景」を楽しむお祭りランとして世界的に有名なフランスのメ

ドックマラソンと同様の企画を本市で開催したものです。



長沼フットピア公園では、東北風土マラソンのほか、本年度3回目となる「登米風土博覧会」なども併せて開催

コース途中に設けられた8カ所の「フードステーション」では、本市や南三陸町、栗原市などから、はっと汁や海産物、果物など20品目を用意し、ランナーに提供しました



復興の力になる走り キッズラン5キロで優勝 中田中・千葉一天さん

キッズラン5キロの部で優勝した千葉一天さん(中田町・新小路)。記録は16分07秒。2位に30秒以上の差を付けてゴールしました。中田中学校の3年生で、陸上部に所属している千葉さん。表彰式では「復興の力になれる走りができたと思います」と胸を張りました。



春の長沼周辺コースを走るランナーたち。沿道の声援も背中を後押し



「東北風土マラソン」通じ「登米市」を発信

今回、初の試みで「東北風土マラソン」を企画・開催いたしました。

震災からの復興を合言葉に、地域おこしと観光、物産、スポーツ振興を目的に、たくさんの方たちの思いが込められて開催し

た本大会。多くの著名人や企業、そして地元の方々などの支えがあって、長沼湖畔が大勢のランナーや応援の人たちでにぎわいました。ご支援、ご協力をいただいた皆さんには本当に感謝しています。

本大会の課題を検証し、この「東北風土マラソン」をますます発展させ、日本、そして世界に「美しい風景とおいしい食材に恵まれた元気なまち・登米市」を発信していきたいですね。



東北風土マラソン&フェスティバル2014実行委員長
市観光物産協会 やすひこ
阿部 泰彦 会長



大会アンバサダーを務めた野球解説者の古田敦也さんをはじめ、俳優の辰巳琢郎さんやミュージシャンの「サンバラザ中野くん」などの大物ゲストも駆け付け、大会を盛り上げました



大会を支えるボランティアスタッフ。市内外の約320人が、笑顔のおもてなしで選手を応援